

好みの料理、記録アプリ

レピカ 店舗情報や写真投稿

システム開発のレピカ(東京・港、岩井陽介社長)は、飲食店で気に入った料理の情報をスマートフォン(高機能携帯電話)からインターネット上に記録できるサービスを始め、個人の「グルメ録」として楽しむほか、交流サイト(SNS)などで友人との共有もできる。TBSテレビ(東京・港、石原俊爾社長)など提携して利用拡大を目指す。



個人的な「グルメ録」のほか、SNSで友人と共有して楽しむ。27日からスマホ用アプリ「ぐろうログ」を米アップルの「iPhone」向けに配信する。米グーグルの基本ソフト(OS)「アンドロイド」搭載端末向けも3月までに始める。利用には無料の会員登録が必要になる。スマホ全地球測位システム(GPS)を使って店舗の位置情報を自動的に記録し、店舗の名前と記録したい料理の写真、料理のジャンルをコメントと共

に投稿する。投稿した内容を公開するかどうかを選べる。関心や趣味が同じ利用者を友達として登録する機能も搭載した。ミニブログ「ツイッター」やSNS「フェイスブック」とも連動する。サービスにはTBSの料理番組2つと出版3社の雑誌編集者が参加する。審査の上で公式アカウントを発行し、メディアで取り上げた店舗を紹介して利用者の拡大につなげる考え。メディア側には「ぐろうログ」からの利用者の関心や嗜好などのデータを提供して番組の制作などに役立ててもらおう。アプリの収益は関係者で分け合い、当面は広告収入で運営する。今後1年間で100万人の利用を見込む。同社は飲食店向けにポイントカードの代理発行や、メールマガジンを配信するシステムを提供している。